

第3回前期定例群馬県議会 開会

新型コロナウイルス感染対策等の補正予算（412億円）提案される

18日、第3回前期定例会が開会され、新型コロナウイルス感染症対策の予算などが提案されました。

帰国者接触者外来の運営など検査・相談体制の整備に4億6千万円、重点医療機関受け入れ態勢の確保や医療従事者支援、クラスター対策チーム設置など医療提供体制の整備に15億3千万円、介護サービス少額福祉サービス提供支援などに50億5千万円、ニューノーマル創出支援や生活福祉資金の貸付、県立大学授業料減免（家計急変学生支援）など、産業の支援と生活の不安への対応に121億8千万円など、合わせて412億円にのぼる大型補正となります。全国高校総体やぐんまマラソンの中止、群馬デスティネーションキャンペーンの一部中止など9億円余の既決予算が見直されます。

県立学校ICT整備予算を可決 酒井県議が質問

少人数学級こそ求められていると指摘しつつ、賛成

インターネットなどの情報通信技術を活用したICT機器の契約について本会議で質疑・可決されました。酒井県議は、「県立学校用ICT整備に反対するものではないが、合計で28億円も投入するからには、1人1台の端末配備が緊急に必要なのか。活用方法などについて、教職員、生徒、保護者等の意見を聞く必要があるのではないか」と質問。教育長が、学習環境を整備するためと答弁したのに対し、酒井氏は、教員の負担増を招く恐れがあるとの教育現場の声を紹介しながら、コロナ禍の今だからこそ、教員増による少人数学級が求められていると強調しました。

伊藤ゆうじ県議が一般質問 28日午後2時半頃～

主な質問項目 新型コロナウイルス対策 PCR検査・保健所体制・公立公的病院統廃合について
有害スラグ問題 東邦亜鉛由来の有害スラグの撤去について

※群馬テレビやインターネット（県議会ホームページから）での視聴をおすすめします